

第26回 国土技術開発賞 優秀賞 を受賞しました

首都高速道路株式会社と当社は、「高耐久超低騒音舗装」（副題：損傷対策型小粒径ポーラスアスファルト混合物）の開発により、このたび、第26回国土技術開発賞の優秀賞を受賞いたしました。

関連サイト：<https://www.jice.or.jp/review/awards/26th>

「高耐久超低騒音舗装」は、従来の排水性舗装と同様に水撥ねやハイドロプレーニング現象を抑制する「排水性」を有し、路面とタイヤの接触部から発生する騒音を従来の低騒音舗装よりも 7.8dB 小さくする「超低騒音性」、その上を走行する車両の平均走行燃費を 4.5%改善させる「低燃費性」、及び骨材飛散抵抗性に優れ長期間の使用が可能となる「高耐久性」の、4つの優れた機能を併せ持つ舗装です。

国土技術開発賞は、一般財団法人国土技術研究センターと一般財団法人沿岸技術研究センターの主催により、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚と建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するもので、1998年度に設けられています。

表彰式は2024年7月31日に東京国際フォーラムにて行われ、本技術の開発代表者である首都高速道路株式会社の蔵治賢太郎様と、当社代表取締役社長の小幡学が出席し、斉藤鉄夫国土交通大臣より表彰状と副賞を授与されました。また、優秀賞に選ばれたことにより、「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞候補として、国土交通省内に設置される選考有識者会議に推薦されることになりました。

当社はこれからも研究開発を軸に、道路管理者や道路利用者の皆様に新たな価値を提供し続け、道創りを通じて社会に貢献してまいります。



（左から）首都高速道路株式会社 蔵治様、斉藤国土交通大臣、当社社長の小幡